

主な出来事

【内政】

- 8月15日、2021年-2022年の国会会期が終了した。
- 8月24日、総選挙が実施され、29日、国家選挙管理委員会(CNE)は最終結果を発表した。
- 8月28日、ドス・サントス前大統領の国葬が行われた。
- 8月29日、ロウレンソ大統領／MPLA党首は、総選挙の最終結果発表を受け、MPLAの勝利を宣言した。

【外交】

- 8月1日、高橋在アンゴラ大使館次席はクアンド・クバンゴ州を訪問し、地雷除去事業の供与式に出席した。
- 8月15日、アントニオ外相は、ブリンケン米国务長官と電話会談を実施し、ルワンダ・コンゴ(民)情勢につき意見交換を行った。
- 8月17日から18日、コンゴ(民)で開催された第42回SADC首脳会合において、アンゴラはSADC副議長に就任した。
- 8月27日から28日、ドミンゴス・ロペス外務副大臣(国際協力・アンゴラ人コミュニティ担当)率いるアンゴラ代表団がチュニジアで開催されたTICAD8に出席した。

【経済】

- 8月11日、伊企業Saipem社は、非随伴ガス開発事業にかかる3つのEPC契約を締結した。
- 8月12日、繊維工場Textang IIを運営するアルゼンチン系アンゴラ企業IEP社は、マランジェ州で約37年ぶりに綿花の収穫を行った。
- 通信・情報技術・マスコミュニケーション省と中国企業Sinohydro社は、全国ブロードバンド事業関連機器・サービスの調達に係る契約を締結した。

内政

1. 投票日を休日とする決定

8月12日、ロウレンソ大統領は、アンゴラ共和国憲法及び国家祝日法等の関連法に基づき、アンゴラ全土において投票日の8月24日(水)を休日とする旨宣言した。交替制勤務の労働者は対象外となるが、同労働者の投票権行使のための一時的不在が認められる(JA 8/13)。

2. 国会の今会期終了

8月15日、2021年-2022年の国会会期が終了した。

今会期中、36件の法令及び49件の決議が国会で可決された。可決された法令には、最高裁判所組織・機能法、控訴裁判所法、民衆訴訟権法、改正刑事訴訟法、改正アンゴラ国軍社会保障制度法、改正国家警察階級・記章関連法、公用収用法等が含まれていた(AP 8/15)。

3. カビンダ州情勢

8月24日、カビンダ解放戦線(FELC)の武装部門であるカビンダ軍(FAC)は、カビンダ州チオワ地域チングンド軍事基地でアンゴラ国軍に対する武力作戦を開始した旨の声明を発表した。同声明によれば、FACは11名のアンゴラ国軍兵士を殺害し7名を負傷させた(PA 8/24)。

29 日、FLEC-FAC は、数回の軍事作戦により、アンゴラ国軍の兵士 18 名を殺害した旨声明を発表した([LS 8/29](#))。

4. 総選挙最終開票結果

8 月 24 日、総選挙が実施され、29 日、国家選挙管理委員会(CNE)は最終結果を発表した。与党 MPLA が得票率 51.17%(124 議席)で第一党となり、UNITA が得票率 43.95%(90 議席)で第二党、PRS が得票率 1.14%(2 議席)で第三党、FNLA が得票率 1.06%(2 議席)で第四党、PHA が得票率 1.02%(2 議席)で第五党となった。残り 3 党(CASA-CE、APN、P-NJANGO)は議席獲得に至らなかった(当館注:9 月 1 日、UNITA と CASA-CE は、本最終結果に対し憲法裁判所への異議申し立てを行っている)([JA 8/30](#))。

5. 選挙監視団の評価

8 月 26 日、南部アフリカ開発共同体(SADC)及びポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)国際選挙監視団は、選挙監視団報告会を開催し、今次選挙の選挙前及び投票プロセスは平和的で良く組織され、有権者が民主的意思を表明できるものであったと述べた。また、SADC監視団代表を務めたカポフィ／ナミビア国防大臣は、今後、ジェンダー開発に関するSADC議定書に従い、政治への女性参加を可能にするための社会・文化・政治的環境の改善を期待するなど述べた([JA 8/27](#))。

6. ロウレンソ大統領による勝利宣言

8 月 29 日、ロウレンソ大統領／MPLA 党首は、最終結果発表を受け、MPLA の勝利を宣言した。同大統領は、国民、国家選挙管理委員(CNE)、国内外のオブザーバー、MPLA 党員と各政党代表及び党員に謝意を表明した。また、今後、民間部門やその他のパートナーと共に、雇用創出、及び自営業や起業の促進に向け、一層尽力していきたいなどと述べた([JA 8/29](#))。

7. ドス・サントス前大統領の遺体到着

8 月 20 日、ドス・サントス前大統領の遺体が当地ルアンダに到着した。遺体の移送のためスペインからルアンダまで同行したアナ・パウラ夫人と前大統領子息等は、ル

アンダ国際空港にて、フランシスコ・フルタード大統領府武官長(葬儀実施委員会委員長)をはじめとする政府関係者の出迎えを受けた。その後、遺体は、ルアンダ市ミラマール地区の前大統領公邸に運ばれた([JA 8/21](#))。

8. ドス・サントス前大統領の国葬

8 月 28 日、ドス・サントス前大統領の国葬が行われ、ロウレンソ大統領、閣僚、政府機関関係者、宗教団体関係者等が参列した。国外からは、ポルトガル、サントメ・プリンシペ、カーボベルデ、モザンビーク、ギニアビサウ、ジンバブエ、コンゴ(民)、コンゴ(共)、南アから大統領、ガボン、キューバ、赤道ギニア、サウジアラビア、ルワンダアルジェリアから首相、副首相、閣僚レベル、タンザニア及びナミビアから元大統領が参列した(JA 8/28 ①②)。

外交

1. 日本政府による地雷除去支援

日本政府は、英国の NGO ヘイロートラストに総額約 44 万ドルの支援を行い、クアンド・クバンゴ州カバンガ地区にて 38,300 平方メートルの地雷除去作業が行われた(当館注:作業地域の合計は約 18 万平方メートル)。8 月 1 日、供与式に出席した高橋在アンゴラ大使館次席は、日本政府は人々の安全と食の安全を提供し、農業生産を増加させるためにも、アンゴラ政府に引き続き協力していく意向である旨述べた([JA 8/3](#))。

2. アンゴラの TICAD8 参加

8 月 27 日から 28 日、ドミンゴス・ロペス外務副大臣(国際協力・アンゴラ人コミュニティ担当)率いるアンゴラ代表団がチュニジアで開催された TICAD8 に出席した。その他、TICAD8 には、アフリカ各国首脳 20 名をはじめ、ビジネス・フォーラムやサイドイベントへの招待者等約 5,000 名が出席した([JA 8/28](#))。

3. アントニオ外相の外遊

7 月 27 日から 8 月 4 日、アントニオ外相は、ナミビア、ボツワナ、ケニア、エチオピア、南ア、セネガルを外遊し

た。同外相は、各国首脳等を表敬し、ロウレンソ大統領によるルワンダ・コンゴ(民)及び中央アフリカの政治・外交情勢の安定化への取り組みにつき報告した他、アフリカ連合(AU)の小型武器対策イニシアティブである「Silencing the Guns」につき意見交換を行った([VA 8/5](#))。

4. アントニオ外相のカタール訪問

8月7日から8日、アントニオ外相は、カタールを訪問し、カタールの仲介で実施されたチャド軍事政府と反政府勢力の和平協定署名式に出席した。また、同外相は、ムハンマド・ビン・アブドルラフマン・アール・サーニー／カタール副首相兼外相と会談を行い、アンゴラ・カタール間の経済協力の強化やアフリカ及び中東における平和・安全保障情勢等につき意見交換を行った([JA 8/7 8/8](#))。

5. アントニオ外相とブリンケン米務長官の電話会談

8月15日、テテ・アントニオ外相は、アントニー・ブリンケン米務長官と電話会談を実施し、ルワンダ・コンゴ(民)間の緊張関係をはじめとする大湖地域の現状を中心に、アフリカの平和と安全保障につき意見交換を行った([JA 8/15](#))。

6. アンゴラの SADC 首脳会合への出席

8月17日から18日、テテ・アントニオ外相は、ロウレンソ大統領代理として、コンゴ(民)で開催された第42回 SADC 首脳会合に出席した。各国首脳らは、チセケディ／コンゴ(民)大統領を SADC 議長に任命すると共に、ロウレンソ大統領を次期 SADC 議長(2023年8月から2024年8月)に選出した(当館注:これに伴い、アンゴラは今期副議長に就任した)([JA 8/18](#))。

7. ロウレンソ大統領と前大統領国葬出席者との会談

8月28日、ロウレンソ大統領は、ドス・サントス前大統領の国葬に出席したジョセ・マリア・ネーヴェス／カーボベルデ大統領、ウマロ・シソコ・エンバロ／ギニアビサウ大統領、ドゥニ・サス・ンゲソ／コンゴ(共)大統領及びジョルジ・ロペス・ボン・ジェズ／サントメ・プリンシペ首相と個別に会談を行った。翌29日には、カルロス・ヴィラ・

ノヴァ／サントメ・プリンシペ大統領と会談を行った他、リカルド・カブリサス・ルイス／キューバ副首相の表敬を受けた([JA 8/29 8/30](#))。

8. 米国との大西洋沿岸での協力に関する協議

8月30日、ムシング当地米国大使は、テテ・アントニオ外相を表敬し、9月前半にポルトガル・リスボンで開催される会議にて予定されている「大西洋沿岸パートナーシップ」の発足に関し協議を行った。アンゴラ外務省の発表によれば、大西洋沿岸パートナーシップは、北中南部大西洋の管理と保全に関する既存のイニシアティブを補完することを目的としている([JA 8/31](#))。

9. アフリカ連合(AU)平和・安全保障理事会

8月31日、アントニオ外相は、オンライン形式で開催されたAU平和・安全保障理事会に出席した。同理事会では、コンゴ(民)東部の政治情勢に関する最近の動きにつき報告が行われた。また、アンゴラ主導の大湖地域国際会議(ICGLR)、及び中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)が行った仲介プロセスについても意見交換を行った([JA 9/1](#))。

経済

1. 中国企業による干ばつ対策事業

8月8日、ジ・シャオヨン Power China International Group Limited 取締役会長は、ロウレンソ大統領を表敬後、干ばつ対策事業であるクネネ州のカファー地区水路建設事業の補完工事を完了し、現在、アンゴラ南部のウイラ州、ナミベ州、クアンザ・スル州にて、同様の事業を策定中だと述べた([JA 8/9](#))。

2. 伊企業 Saipen 社による油田開発事業

8月11日、伊企業 Saipem 社は、ニューガスコンソーシアム(NGC: Eni 社 26.6%、Chevron 社 31%、Sonangol 社 19.8%、BP 社 11.8%、Total 社 11.8%)と非随伴ガス開発事業にかかる3つのEPC契約を締結した旨発表した。契約総額は約9億ドルに上る。同社は、キルマ油田からガス処理プラントの輸送網の整備と試運転のサポ

ート等を請け負う[\(OE 8/11\)](#)。

3. 綿花収穫の開始

8 月 12 日、繊維工場 Textang II を運営する IEP 社(アルゼンチン系アンゴラ企業)は、マランジェ州バイシャ・デ・カサンジェ地域において、約 37 年ぶりに綿花の収穫を行った。綿花栽培には 50 世帯が参加し、50 ヘクタールの土地で年間約 100 トンの収穫を見込んでいる[\(JA 8/15\)](#)。

4. 中国企業による全国ブロードバンド事業

7 月 22 日付大統領令により、全国ブロードバンド事業に関し、通信・情報技術・マスコミュニケーション省と中国企業 Sinohydro 社の間で、2 億 4,800 万ドルの同事業関連機器・サービスの調達に係る契約が承認された。事業資金は中国輸出入銀行による融資の予定である。[\(EX 8/16\)](#)。

5. アンゴラがサブサハラ最大の産油国に

8 月 16 日、7 月のアンゴラの石油生産量(118 万バレル/日)は、ナイジェリアの石油生産量(108.4 万/日)を上回り、アンゴラは 3 か月連続でサブサハラ最大の産油国となった。これはナイジェリアでの大幅な石油生産量減少によるものである。ナイジェリアでは、製油所やパイプラインからの原油盗難被害が相次いでいる[\(LS 8/16\)](#) [\(NJ 8/16\)](#)。

6. TICAD8 でのアンゴラ代表団と豊田通商の会合

8 月 26 日、TICAD8 のマージンにおいて開催したドミンゴス・ロペス外務副大臣を首席とするアンゴラ代表団との会合において、貸谷伊知郎/豊田通商(株)社長は、アンゴラにおいて、過去 2 年で 10%以上売り上げが増加している小型自動車の市場を拡大したいとの意向を表明した[\(JA 8/26\)](#)。

7. UNITEL による 4G、5G エリアの拡大

7 月、UNITEL は、音声及びデータサービスの 5G エリアをルアンダ州タラトナ地区、インゴンボタ地区、マイアング地区にて拡大、4G エリアをルンダ・ノルテ州ルバロ地区、クアンザ・スル州ポルトアンボイン地区にて拡大した。

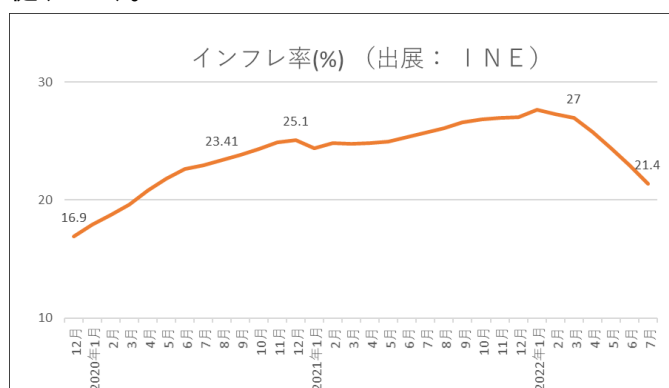
同社によれば、8 月時点で 3G、4G、5G サービスは全国 353 地区で利用可能となっている[\(JA 8/31\)](#)。

【主要経済指標】

1. 物価

国家統計院(INE)が発表した 7 月のインフレ率は、全国平均で前月比 0.81%、前年同月比 21.40%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(0.36%)、教育(0.08%)、モノ・サービス(0.07%)、家具、家財、メンテナンス(0.06%)、衣類・靴(0.06%)、保健(0.06%)。



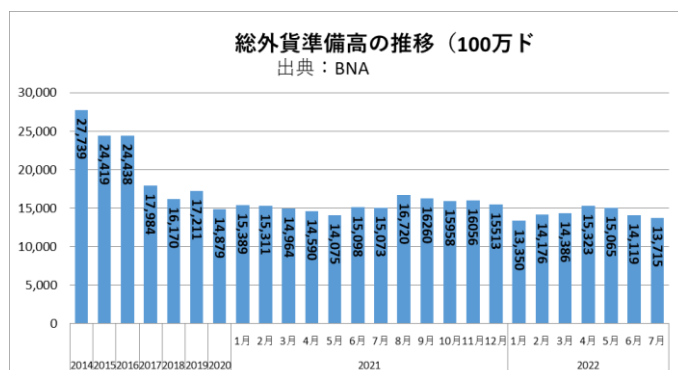
2. 金利

金融政策委員会(CPM)は開催されず。

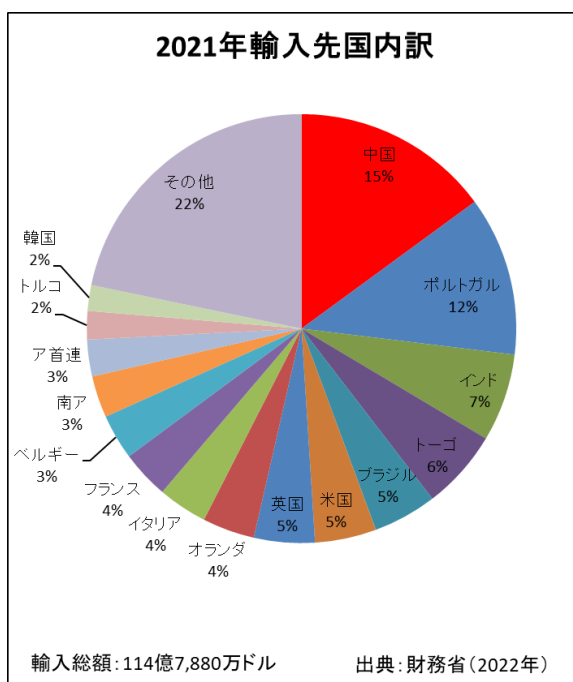
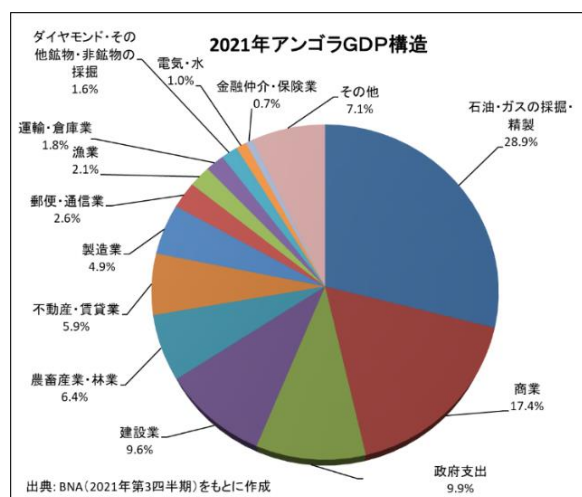
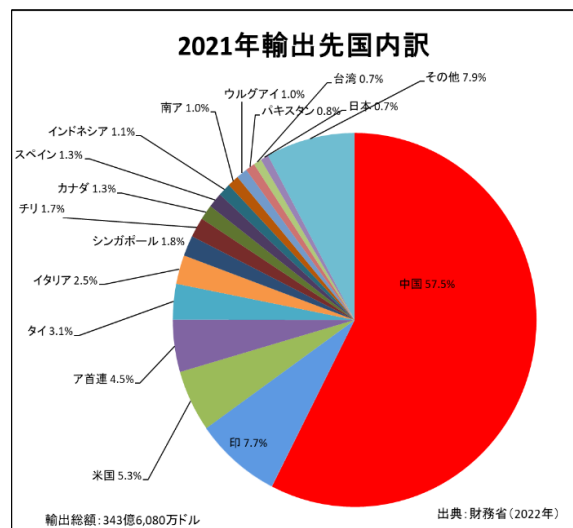
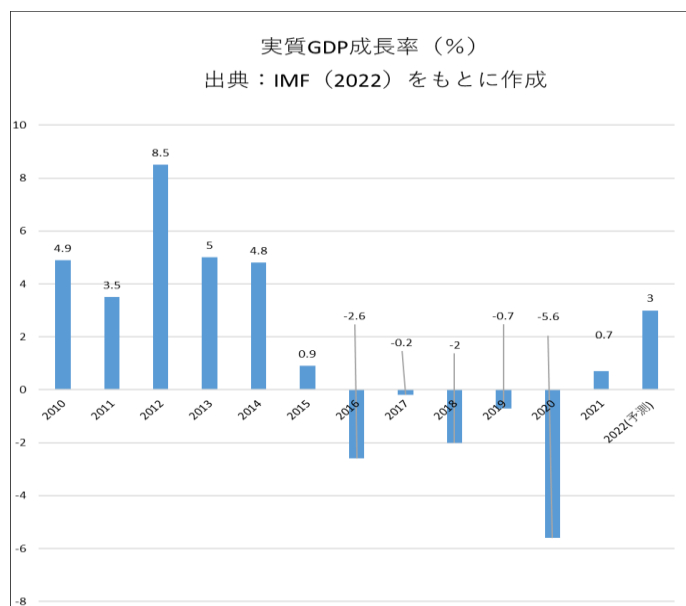
3. 為替市場

8 月 31 日、為替相場は 1USD=429.421 AOA で推移。

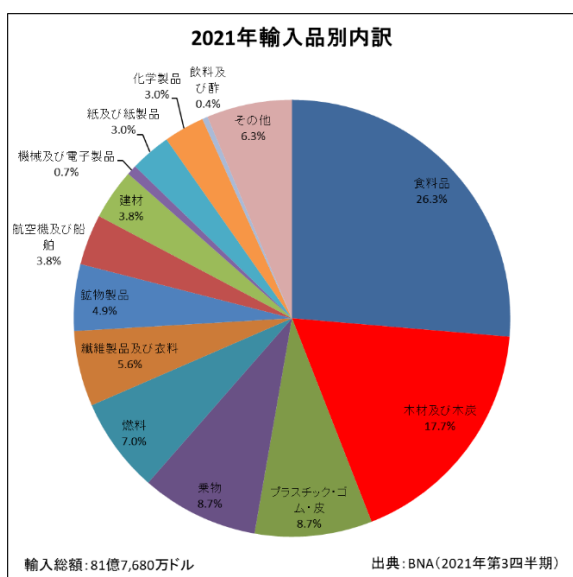
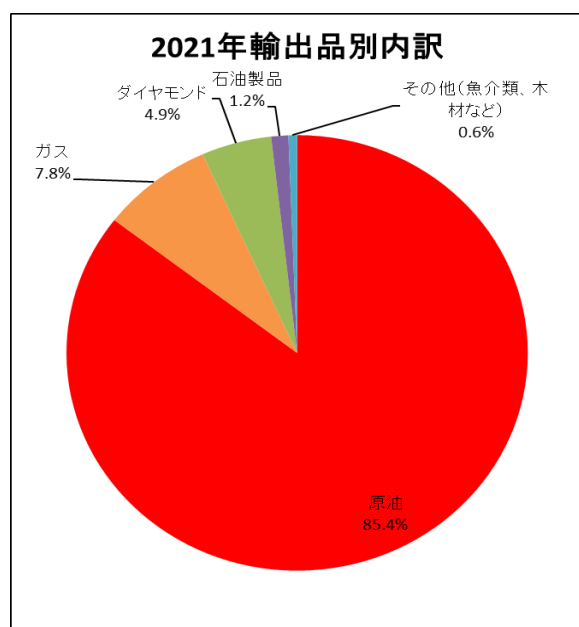
4. BNA 発表の外貨準備高統計



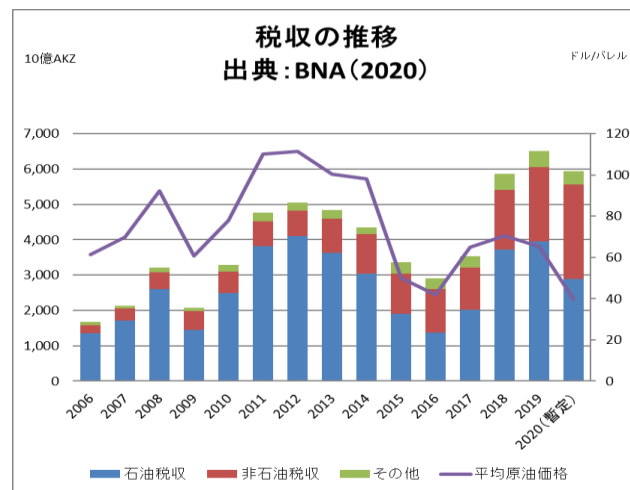
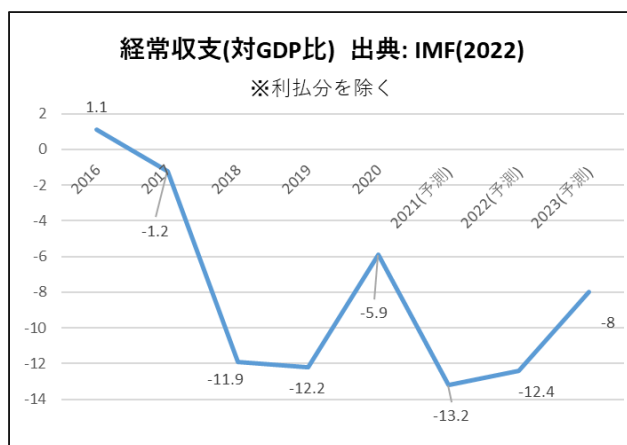
5. GDP及び成長率



6. 主要貿易統計



7. 財政主要統計



****AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AfN: Africa News、AN:Ango Notícias、AO: Angola Online、
 AO24:Angola 24 horas、AP: Angop、BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、
 DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche Welle、EG: E-Global、EIU: Economist Intelligence Unit、EN: Euro News、EX:
 Expansão、EXP: Expresso、FT: Financial Times、FM: Forum Macao、GOV: Government' s Official Portal、JA:
 Jornal de Angola、JE: Jornal Economico、JN: Jornal de Negocios、LS: Lusa、ME: Mercado、MH:Macau Hub、MR:
 Mining Review、MW: Mining Weekly、NAM: Noticias ao Minuto、NJ: Novo Jornal、OBS: Observador、OP: O País、
 PA: Portal de Angola、PB: Publico、RE: Reuters、RFI: Radio France Internationale、RTP: Rádio e Televisão de
 Portugal、TPA: Televisão Pública de Angola、VA: Ver Angola、VE: Valor Económico、VG: Vanguarda、VI: Visão、
 VOA: Voice of America、WB: World Bank、WSJ: Wall Street Journal、XN: Xinhua Net